

『臥龍梅』 蔵便り

平成二十七年師走



拝啓 年末厳寒の候となりましたが、皆様お元気で過ごしてはいかがでしょうか。今月もご報告することが盛りだくさんです。11/9(月)の午後、地元静岡朝日テレビの「とびっきり!しずおか」という番組のスタッフが取材にみえました。「静岡市清水区・秋葉山公園周辺」特集として近隣のスポットやグルメなどをレポーターがまわって紹介するものです。弊社では、ちょうど五百万石 55%の純米吟醸酒の袋吊り雫酒の出荷準備中でした。搾りたてのお酒をタンクの飲み口から直接利き猪口にとってアナウンサーに試飲してもらいますと、フレッシュで香り高い新酒の味わいに目を丸くしておりました。11/21(土)には、東京は港区東新橋の日本テレビ本社 1F の大屋根広場で開催された**和酒フェスティバル**に参加してまいりました。新橋駅、汐留駅から徒歩1,2分という立地条件に加え、3,000円の会費で飲み放題ということもあって1部、2部とも満員の盛況でした。若い女性が多かったのが印象的で、土地柄だけでなく地酒の人气が根付いてきた証しだと思われまます。弊社ブースでの一番人気は愛山の純米大吟醸で、「このお酒の旨さは特別!」と仰ってくださった女性のお客様もおりました。その翌日 11/22(日)には、臥龍梅応援団の望月さんの主催する寄席、**月の聴**に参加しました。上方落語の名人、**七代目月亭文都師匠**の独演会で、わが三和酒造(株)は友情協力の名のもと、中入り後に臥龍梅の試飲会を開催しました。五百万石 45%精米の純米大吟醸の袋吊り雫酒を提供し大好評でした。お酒の飲めない方のためには望月さん手作りの甘酒がふるまわれ(もちろん臥龍梅の新酒の吟醸粕で仕込んだものです)、こちらも人気でした。写真をご覧ください。文都師匠が臥龍梅の法被を着用して高座に上がってくださいました。終演後は恒例のワンコイン呑酒会で、夜が更けるまで酒宴が続いた模様です。次の写真をご覧ください。こちらは**三遊亭遊雀師匠**です。私の友人Iさんが主催した**清水にぎわい落語まつり**の出演者の慰労会の席です。私は



忙しさに取り紛れて参加できませんでしたが、こちらでもこうして臥龍梅を応援して下さっております。さて、月の聴の翌日 11/23(月)には兵庫県西脇市まで山田錦と愛山の買い付けに出張いたしました。毎年のことながら大型トラックを田んぼの畦道のような場所まで乗り入れての積み込み作業です。山田錦も愛山も上々の出来で、今年も必ずや美味しいお酒に仕上がることと思います。皆様どうぞご期待ください。



今月は品切れして長らくお待たせしておりました、静岡県産の酒造好適米、**菅富士 55%精米**の**純米吟醸酒**の新酒をはじめ、お正月用のレアアイテムをご案内いたします。数に限りのある商品ばかりですのでお早めにご注文ください。早いもの勝ちです。

年の瀬を迎え気ぜわしい毎日ですが、おからだには十分にお気をつけられますよう。

敬具

平成 27 年 12 月 吉日

鈴木 克昌